

Ⅲ 学校経営（平成29年度）

1. 長・中期実施計画

- (1) 教育活動の向上に関する目標を達成するために取るべき措置
 - ・年間指導計画の作成と評価規準・基準の明確化
 - ・年間授業時間数の確保（授業日数200日の確保）
 - ・体験的な学習や問題解決的な学習の重視
 - ・言語活動に関する指導方法の工夫（校内研修を通して）
 - ・道徳教育の充実改善
 - ・学校図書蔵書の充実と利用拡大の工夫（読書指導の工夫）
 - ・コンピュータを活用した指導方法の工夫（情報教育の充実）
 - ・国際理解教育、現地理解教育の充実
- (2) 学校運営の効率化に関する目標を達成するために取るべき措置
 - ・校内組織における業務の明確化
 - ・組織的、機能的な学校評価の実施
 - ・学校運営委員会との連携
 - ・ジャパクラブとの連携
 - ・UPDK（ウポデカ）との連携
- (3) 児童・生徒等の確保のために取るべき措置
 - 児童生徒数の中・長期的な増減見込みの把握
 - 魅力ある学校づくり
 - ・日本の教育水準を維持し、さらにそれ以上の教育が受けられる学校
 - ・モスクワの特色を生かした教育課程の編成と実践
 - ・説明責任を果たし保護者、邦人社会から信頼される学校
 - ・学校ホームページの更新・充実
 - ・ジャパクラブ広報紙への行事掲載
 - ・保護者との連絡を密に取り合う学校（保護者会からPTA活動への移行）
 - ・図書・情報教育の充実
 - ・計画的な教室環境、施設設備の充実
 - 安全・安心
 - ・児童・生徒の安全確保
 - ・学校危機管理体制の充実
 - ・火災・防災・動乱等を想定した避難訓練等の実施（大使館警備班との連携）
- (4) 学校施設設備管理維持のために取るべき措置
 - ・施設設備の安全管理、維持、充実のために、大使館、UPDKと連携強化
 - ・同居校（スウェーデン校、イタリア校、フィンランド校）との連携強化
- (5) 財務内容の改善のために取るべき措置
 - ・支出内容の見直し

2. 年度別実施計画

平成29年度（2017年度）実施計画

1. 学習指導要領にそった教育課程の見直し・改善をしていく。
2. モスクワ日本人学校創立50周年記念に向けた準備に着手する。
3. 「道徳の時間」を要として学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行う教師の意識改革と計画的な道徳指導を実践する。
4. 児童・生徒の安全確保警備体制の充実。避難訓練の充実、緊急連絡網の整備。
危機管理意識を再確認するとともに、安全指導の徹底を図り、子どもの健全育成に努める。
5. 情報教育機器の整備パソコンソフトの整備充実に努める。
6. 計画的な施設、設備の充実、改修に努める。8

平成30年度（2018年度）実施計画

1. 学習指導要領にそった教育課程を検証し、改善をしていく。
2. 児童・生徒の安全確保警備体制の充実。避難訓練の充実。緊急連絡網の整備。
3. 危機対応基本計画の加筆修正に努めるとともに、全職員共有のものと出来るよう毎学期確認をする。
4. 情報教育機器の整備パソコンソフトの整備充実に努める。
5. 安全対策を含め施設、設備の充実、改修に努める。

平成31年度（2019年度）実施計画

1. 学習指導要領にそった教育課程を検証し、改善をしていく。
2. 児童・生徒の安全確保警備体制の充実。避難訓練の充実。緊急連絡網の整備。
3. 危機対応基本計画の加筆修正に努めるとともに、全職員共有のものと出来るよう毎学期確認をする。
4. 情報教育機器の整備パソコンソフトの整備充実に努める。
5. 安全対策を含め施設、設備の充実、改修に努める。

平成29年度 学校経営の基本方針

モスクワで生活し、学ぶ子どもたち。常に一生懸命で全力で何事にも取り組む姿を毎日目にします。元気で気持ちの良いあいさつ、仲間を大切にする優しさ、夢を大切にする強さ、モスクワ日本人学校の児童生徒の素晴らしさだと思います。本年度も子どもたちのこの素晴らしさが更に輝くような教育に全力で取り組んでまいります。

モスクワ日本人学校で学ぶこと、出会いが「よかった。」と誰もが感じられるような関わりこそが大切と考えます。

平成29年度は、教育の根幹を為す「ひとり一人を大切にせる教育」を大事にし、私たち教職員全員が「一人をみんなで育てる」との思いを共有し、チームとして教え、育て、関わり合いながら、モス日の教育を遂行していきたいと考えています。

そして、児童生徒が笑顔いっぱい、何事にも生き生きと本気で取り組み、互いに感動する場面をたくさん作り出す一年にしていきたいと思っています。そのために、安全・安心な学校を第一に、危機管理への意識を高め、楽しい中にも、緊張感のある学校としていきたいと思っています。

また、本年は、モス日開校50周年となります。特に記念行事の実施計画はありませんが、日頃の学校生活の中で、感謝と成長の意義を子どもたちと一緒に感じとっていききたいと思っています。

【学校教育目標】

- (1) 豊かな心をもち、知・徳・対の調和のとれた児童・生徒の育成
- (2) 自ら学ぶ意欲をもち、たくましく、個性的な児童・生徒の育成
- (3) 異なる文化を体験することにより、日本の文化と伝統をより深く尊重することのできる児童・生徒の育成

めざす子ども像

- (1) 意欲をもって学ぶ子 = 学ぶよろこびがあふれる学校
- (2) 仲よく助け合う子 = 感謝の気持ちがあふれる学校
- (3) 丈夫で元気な子 = いつも元気があふれる学校
- (4) モスクワでの生活を豊かにする子 = ロシアとのつながりがあふれる学校

○平成29年度は

～出会いを大切に、感動あふれる モス日にしよう～

在外教育施設に派遣されて感じることは、何と言っても「出会い」だと思います。それも単なる出会いではありません。日本から離れ、遠い異国の地で出会うことは、すごい確率ではないでしょうか。そのような貴重な出会いの中で、モス日で過ごす時間はかけがえのない大切な時間であるはずですが、出会えた子どもや保護者や教職員がモス日で頑張る姿に触れることで、「感動」が生まれます。「誰もが頑張っているんだ。」と感じることで、自分自身も頑張れます。その頑張りの連鎖が、「感動」をより大きな「感動」としていきます。

モス日の誰かの姿や発言や態度に「感動」する。「すごい！」と素直に表現できる児童生徒の育成を目指していきたいと思います。「感動」をもらう人、「感動」を与える人、共に大切な人として、素直に気持ちを表現し伝えるモス日にしていきます。

平成29年度の具体的な取り組み

1. 確かな学力の育成

- ①基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。そのために、実力テストを活用して子どもたちの学力を把握し、学力向上と授業改善に取り組む。(4年生以上)
- ②子どもの心が安らぐ居場所となるような学級づくりを目指し、落ち着いて授業に取り組めるようにする。

2. 豊かな心の育成

- ①豊かな心を養う、計画的な道徳授業を行う。
- ②小学部では、気持ちの良い挨拶を行い、集団や社会のきまりを守る心を育てる。
- ③中学部では、リーダーとしての自覚を養い、社会の一員としての主体的な参画を意識づける。

3. 健やかな体の育成

- ・年間を通した計画的な体力づくりに取り組む。

4. グローバルな人材の育成

- ・現地校、同居校との交流を積極的に図り、ロシア文化の理解に努めるとともに、日本文化への理解

を深める。

5. 進路指導の充実

- ・進路指導の大切さは、国内においても国外においても変わらない。生き方指導としての進路指導を小・中を通して計画的・継続的に行う。特に、入試に関する情報収集に努め、一人ひとりの特性や能力を考え、適切な進路指導を行う。

6. 教育課程の整備

- ・各教科の年間指導計画を作成する。(英会話・ロシア語も含め)

7. 児童・生徒指導

- ・生徒会・児童会を中心とした活動の場面を増やし、子どもたちの自治的能力を伸ばす。

8. 特別支援教育

- ・個に応じた支援計画を作成する。

9. 人材育成

- ①校内研修の活性化を図り、授業力・指導力のアップを図る。
- ②チームを意識し、連携・協働で業務にあたる。

10. 学校評価

- ①行事ごとの保護者アンケートを実施し、改善策を示す。
- ②学校評価検討委員会を設置して学校評価項目を検討し、経年分析を行う。

11. 学校運営組織の見直し

- ・特別部会にプロジェクトを置く。(学校評価検討部会、学校行事検討部会、その他)

12. 安全対策

- ①安全対策マニュアルの内容を検討・見直し・追加を行う。
- ②大使館、セキュリティーと共同した安全対策及び訓練を実施する。

13. 学習環境の充実

- ・計画的に環境整備計画を立て、校内環境の整備を推進する。

14. 開かれた学校づくり

- ①保護者会からPTAへの移行に伴い、今まで以上に保護者と教職員が共に手を携え、子どもたちの成長のために協力していく。
- ②年1回の学校公開日を設け、自由に授業を参観できる雰囲気づくりを行う。